

令和5年度 第5回 小浜警察署協議会 開催結果

1 日時

令和6年2月28日（水）午後2時00分から

2 場所

小浜警察署

3 出席者

協議会委員 5名

小浜警察署 署長以下8名

4 内容

- (1) 開式の辞
- (2) 会長挨拶
- (3) 警察署長挨拶
- (4) 議事
業務推進結果
- (5) 質疑等



【委員】

自転車盗が多いという説明であったが、小浜警察署管内においてはどうか。

【警察】

昨年の小浜警察署管内で認知した自転車盗の認知件数は7件。

【委員】

110番通報で、616件中、半数が間違い電話という説明を聞いたが、間違いの内容はどういったものか。

【警察】

誤接続が発生しており、ポケットの中で緊急通報が押され無意識に送信してしまうことが原因である。

なお、いたずら電話もある。

【委員】

犯罪被害者支援自販機が設置されているとのことであるが、小浜警察署にも設置されているのか。

また、警察以外の場所にも設置されているのか。

周知活動は行っているのか。

【警察】

当署1階に設置されている。

犯罪被害者支援に協力していただいている会社や施設にもある。

犯罪被害者支援センターのホームページで協力依頼をしており、自動販売機に「売り上げの一部が支援募金に寄付される」という内容が

書かれている。

【委員】

高齢者の免許返納について、各市町の施設において行われているが、警察署等の受付件数と比べ成果は上がっているのか。

【警察】

件数では、約200数十件受け付けており、小浜市民は積極的に来ている。若狭町にあっては、嶺南免許センターがあるためか低調な印象を受だが、敦賀警察署と合同で実施しているので、相応の件数と認識している。

また、ケーブルテレビによる広報を実施したところ、反響が良く件数も増加した。

【警察】

各委員に質問であるが、小浜警察署では各戸に防災無線があることを活用し、高齢者に対する「特殊詐欺や戸締まり等の防犯広報、薄暮時における早めのライト点灯」等を実施している。

これについて、どういった印象を持っているか。

【委員】

ありがたく感じた。警察署からの広報とアナウンスが流れると耳を傾けていた。

【委員】

市民から「広報内容がはっきりとわかりやすい」という言葉を聞いている。

【警察】

ケーブルテレビでも放送しているが、小浜市民は有線の方が耳に止まる印象であるため、より耳を傾けられるよう工夫を凝らし、今後も続けて行く方針である。

【委員】

小浜市には、防災エリアメールがあるが、警察に同様のものはないのか。

【警察】

2月14日から、福井県警察防犯アプリ「ふくいポリス」というアプリを運用しており、これに情報が入ってくることになる。

ポイントが付加され、県内施設での優待が受けられるという特典もあるので、ぜひインストールしていただきたい。

【委員】

地震発生時、県立大学に避難したが、渋滞が発生していた。

高浜町民と話したところ、避難時は乗り合いで自動車に乗車するという話を話しており、日々の訓練が必要と感じた。

早急な避難が必要であるが、徒歩で避難しないといけないか。

【警察】

避難の原則は、徒歩又は自転車である。

絶対ではないが、車は使わないことになっている。

住民に避難方法が浸透していないので、防災教養に努めていきたい。